



島教協

《すべては「子どもたちのために」》 情報報

http://www.kyougikai.org

E-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax: 0853 (22) 7762 代表者 吉田 修 編集人 曾田史郎 No.663

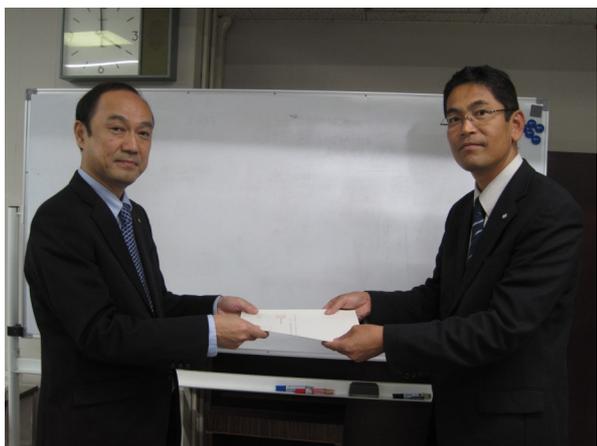
県教委に要望活動を実施

十一月六日(木)、島教協は、県教委に対して要望活動を実施しました。

県教委側からは、細田敬二教育次長をはじめ、各課の課長など八名、島教協からは、吉田会長・副会長・執行委員の計七名が出席しました。

約一時間にわたって、学校現場の実情や会員アンケートの結果などの具体的な例を挙げながら、今年度の重点項目である「少人数学級の推進」「サポート制度の維持・拡充」「特別支援教育の充実」に加え、「養護教諭の配置改善」「学校業務の簡略化」について要望を訴えました。

島教協は「すべては子どもたちのために」の理念に基づき要望をしています。決して自分の利益のためだけに要望をして



細田教育次長(左)から回答書を受け取る吉田会長

に要望をしてい
るわけではあり
ません。その点
は県教委の方に
も理解を示して
いただいでいま
す。
要望事項と回
答は、学校代表
者に後日配布し
ます。お忙しい
毎日でしょう
が、回覧をして
いただき、ぜひ
ご覧ください。

教育シンポジウム兵庫

今、世界に伝えたい日本 ～文化融合の地より～

十一月二十日(日)、兵庫県神戸市にて、教育シンポジウム兵庫が開催されました。

県内外から三百五十人の参加者、島教協からは五人が参加があり、子どもたちにとってよりよい教育のあり方について見識を深めました。

なお、来年の教育シンポジウムは、十一月中旬に北海道釧路で開催される予定です。

参加者の声

外国での生活経験のあるパネリストの方々のお話が大変興味深かったです。外から日本を眺めてみると、日本のよさに気づきやすいものだなと感じました。私自身も子どもたちに対して、時には外から眺めるような視点をもちたいと思いました。

最近英語教育の早期化が議論されていますが、やはり子どもたちが日本の伝統文化のよさをもっと知ることや日本人としてのアイデンティティを身につけることは必要なことだな...と感じました。十一月の忙しい時期でしたが思い切って参加してよかったです。

教育講演会のお知らせ

講師 中塩 秀樹 先生

一月十七日(午後) 出雲市民会館

※以前にもご講演いただいた中塩先生です。前回の講演で話しきれなかったことを中心にお話しさせていただきます。詳細は後日お知らせします。



臨時総会を受けて・・・

10月25日(土)に開催された島教協臨時総会で、来年度から専従を置かないことが承認されました。現場にいる会員の誰かが専従職を務めるのではなく、退職されたOBの方が教育現場に理解のある一般の方を雇って、専従がしていた事務的な仕事をやってもらうこととなります。

専従がいなくなることで、役員になった方を中心に、専従がしていた仕事の一部(主に対外的な仕事)を果たさなければなりません。しかし、大部分の会員さんにとって大きな変更はありませんし、これまで通り、県教委への要望活動や人事異動の申し入れ等、大事な活動は行います。

総会での決定を受けて、事務局では来年度より勤務していただける方を探し、お願いをしているところです。今後は勤務条件等、具体的な話を進め、3月の代表者会で正式に決定することとなります。会員の皆様にはご心配をかけますが、4月に改めて報告いたします。



人事異動申し入れ

十二月十七日(水)より、県教委、各市町村教育委員会、各教育事務所に対して、人事異動の申し入れを行います。できるだけ会員の皆様のご希望が尊重されるよう、事務局長(専従)が可能な限り直接申し入れを行います。

島教協は法律に定められた職員団体ですので、この申し入れは公的なものになります。正規のルートに加え、市町村教育委員会の担当者や教育事務所長さんに直接希望を申し入れることができるのは、島教協に入会している大きなメリットであると言えます。

人事異動に関するご相談がありましたら、事務局までご連絡ください。なお、個人情報に関しましては、近年非常に取扱が難しくなっております。

なお、希望調書の変更があった場合は、必ず事務局へご連絡ください。

出教協 要望活動を実施



出雲市教職員協議会は、十一月二十一日(金)、市教委に対して要望活動を行いました。

市教委からは榎野教育長、部長各課長に加え、今年度から幼稚園教諭の所属が健康福祉部となったことで、健康福祉部から児玉子育て調整監、課長補佐にも出席していただきました。

出教協執行部が会員アンケートをもとに、現場の様子を交えながら教育環境の充実向上を訴えました。現場の声を届けることができただけでなく、昨年度までの回答より前向きな回答もいくつかあり、毎年行っている要望活動の成果を感じました。

島根県教育委員会 永年勤続教職員表彰

11月4日(火)、「サンラポームらくも」にて、永年勤続者の表彰式が行われました。島教協の会員では、26名の方が表彰されました。

おめでとう ございます

申請忘れ ありませんか？

島教協慶弔規定

- ①結婚したとき 5,000円
- ②子女誕生 5,000円
- ③永年勤続30年 5,000円
- ④病気見舞金 5,000円
(傷病休暇1ヶ月)
- ⑤住宅災害見舞金 状況に応じて

お問い合わせ・申請は、事務局まで